

緊急！昨日の全学斗争委における「混乱」は何を意味するか！

全学斗争事務局の無原則的「予備折衝受諾」を許すな！
斗争部隊は全学斗争との大衆的「予備折衝」大衆団交をかちこれ！
拒否には守衛所再占拠による報復をめざして斗おう！
6.10決定白紙撤回！筑波移転実力阻止！
日共は民青による「6.10決定の骨抜き化」路を以て当局との一体化

全学学生共闘会議

策動粉砕！

学友諸君！よりわけ全学斗争に結集する学友諸君！

昨日(29日)の全学斗争委員会における「混乱」と対立は何を意味するの？それは、斗争斗争における日共民青の武力制圧直後(20日夜)、評議会において決定された「大衆団交を前提とした予備折衝」を無原則的に受け入れるの、或いはその「マン性」を暴露し粉砕し、全学斗争の大衆的予備折衝をもって応えるの、という対立であつた。

全学斗争事務局の様にこの「予備折衝」を当局の「譲歩」ととらえ、これを「利用する」ことができるだろうか？否！評議会の「予備折衝」提案は、より一足徹底化された「収拾策動」提案再掲策動としてあるのだ！

文部省からの勧告再掲の喝を受けた当局は、産業新聞からの勧告を受けた東大「話し合い」内閣を教訓化し、いわゆる「搬学生を話し合い」ムードにまきこみスト収拾を思ふんとしている。しかも、26、27斗争における民青の武力制圧と「反暴力キャンペーン」による「搬学生」のまきこみをみた当局は、民青をまきこみ、更に全学斗争の一定の後退にふまえた「爪のまきこみ」策動をなしている。

この「爪のまきこみ」策動をなしている。この「爪のまきこみ」策動をなしている。この「爪のまきこみ」策動をなしている。この「爪のまきこみ」策動をなしている。

この当局の収拾策動に対する回答は何か？「予備折衝受諾か？否！斗争事務局は「予備折衝」全学斗争の「日段階」において、日段階の予備折衝の公開と代表団の構成比率は民青1・全学斗争をみちとると言っている。

しかし、日段階の「公開予備折衝」にこのような形で幻想を吹き、日段階の「マン性」を粉砕することなくこれをのむことは許されない。何故なら、当局は「日段階」ホス文部！

しかも民青と全学斗争との比率は1/4なのだ！と設けることによつて、まさに大衆団交を当局ペースで実現しようとして行っているからだ。当局の枠内にはまりこんだ上で何をかちとるのか？

事務局は日段階の予備折衝に大衆的圧力を加え、日段階において6.10決定白紙撤回を政治集実化し、斗争をより上げると云う。しかし当局の「マン的」予備折衝にのつた上で、6.10決定白紙撤回を再び木したところ、6.10決定白紙撤回をかちとりうる力たりうるの？否！まさに当局の「マン的」予備折衝「全学斗争」収拾策動に対する幻想をふりまくだけではないのか？事務局の諸君は云う、「予備折衝をければ「搬学生は全学斗争に反発する」と。だからといって、原則的立場をなぐりすて、湧き上らないことを自己目的化してよいのか？このような形で組織化した力は、真に6.10決定白紙撤回をかちとりうる力たりうるの？否！大衆団交を封鎖をめざした斗争の強化たりうるの？否！

事務局は更に「全学斗争と評議会との大衆団交は現在の力関係の下では不可能だ」と云う。現在の力関係不利であることは認めざる。だからといって、全学斗争と評議会との大衆団交という原則的追求を放棄することに

よつて、一体何をかちとろうというの？まさに当局は全学斗争との大衆団交をなく、五学部自治会との全学集実という形で民青系に依拠することによつて、6.10決定白紙撤回を回避し、民青の武力によつて「大衆団交における全学斗争の追求を回避しようとしているのではないか！この策動を粉砕することなくして、6.10決定白紙撤回をかちとる大衆団交をかちとりうるだろうか？否！事務局の追求しているものは、現在の屈辱的な民青系との力関係を何ら変革しよう道ではない。

学友諸君！既に明らかだ。事務局の無原則性と無植性。それがなされるべきことは何か？それはまさに当局の「予備折衝」全学集実の「マン性」を暴露し、現実的にこれを粉砕することであり、これを通じて、大衆団交をかちとることをある。しかも民青が「搬学生をまきこみ」つて予備折衝に依じている現在、斗争事務局の民青系と全学斗争との力関係を変革しようとする斗争、方針は何？それは当局からの「呼びかけ」に対して「全学斗争の、大衆的予備折衝」の条件をきいて応えることである。われわれは、この斗争方針のもとで全学斗争に幻想を吹きつたある学友、民青とわれわれの間に存在している学友と幻想を打ち破りつたわれわれの戦列に

結集せしめる斗争を展開しなげはならない。文部以外にありは、この方針をきいて反執行部活動を強化し、全学斗争として、この方針をきいて、未だ結集し得ていない学友を結集し、タラスの空同化を克服していかねばならない。更に、この要求が当局によつて拒否された場合には、たたちに抗議集会、抗議行初を組織し、大衆団交封鎖の一環としての守衛所再占拠を民青の武力を粉砕しつちかちとるべく、この方針をきいて斗争をかちとるべきである。無原則無植の現象事務局を再編強化することをめざして斗争をかちとるべきである。まさにこうすることによつて、勝利の展望は切り開かれるのだ！

この方針をきいて、未だ結集し得ていない学友を結集し、タラスの空同化を克服していかねばならない。更に、この要求が当局によつて拒否された場合には、たたちに抗議集会、抗議行初を組織し、大衆団交封鎖の一環としての守衛所再占拠を民青の武力を粉砕しつちかちとるべく、この方針をきいて斗争をかちとるべきである。無原則無植の現象事務局を再編強化することをめざして斗争をかちとるべきである。まさにこうすることによつて、勝利の展望は切り開かれるのだ！